

---

---

## 応用解析研究会 ～ 可積分系から計算数学まで ～

---

---

【日時】2016年5月19日(木) 13:00 ~ 21日(土) 12:40

【会場】天満研修センター (〒530-0034 大阪市北区錦町2-21)  
<http://www.temmacenter.com/tenma/index.html>

旧桜宮公会堂 (〒530-0042 大阪市北区天満橋1-1-1)  
<http://restaurant.novarese.jp/smk/>

5月19日(木)

13:00 ~ 13:10 —— オープニング ——

13:10 ~ 13:40 近藤 弘一 (同志社大学)  
『有限離散ハングリー系の逆固有値問題への応用』...

13:40 ~ 14:10 峯崎 征隆 (徳島文理大学)  
『一般重力  $N$  体問題の差分化』

14:10 ~ 14:40 辻本 諭 (京都大学)  
『箱玉オートマトンに対するスペクトル解析』

15:10 ~ 15:40 上岡 修平 (京都大学)  
『平面分割の積公式』

15:40 ~ 16:10 山本 有作 (電気通信大学)  
『番号付き箱玉系のある拡張とその保存量』

16:10 ~ 16:40 石渡 恵美子 (東京理科大学)  
『ある種の数理生物モデルにおける差分と超離散化』

5月20日(金)

9:30 ~ 10:00 關戸 啓人 (京都大学)  
『ある重み関数に対する多項式回帰モデルの D-最適計画の近似解』

10:00 ~ 10:30 荻田 武史 (東京女子大学), 相島 健助 (東京大学)  
『実対称行列の固有値分解に対する反復改良法』

11:00 ~ 11:30 曾我部 知広 (名古屋大学)  
『 $k$ -三重対角行列のブロック対角化とその応用』

11:30 ~ 12:00 松尾 宇泰 (東京大学), 佐藤 峻 (東京大学)  
『Lyapunov 関数からの差分スキーム直接構成』

- 12:00 ~ 12:30 櫻井 鉄也 (筑波大学), 今倉 暁 (筑波大学), 二村 保徳 (筑波大学)  
『積分型並列固有値ソルバ Sakurai-Sugiura 法による大規模問題の計算』
- 14:00 ~ 14:30 高橋 大輔 (早稲田大学)  
『粒子セルオートマトン』
- 14:30 ~ 15:00 松木平 淳太 (龍谷大学), 津川 未希 (龍谷大学), 樽角 政樹 (龍谷大学)  
『1次元粒子セルオートマトンの Max-Min-Plus 解析』
- 15:20 ~ 15:50 高崎 金久 (近畿大学)  
『全非負行列の因子分解』
- 15:50 ~ 16:20 中村 佳正 (京都大学)  
『離散戸田方程式に基づくランチョス法とガウス型積分公式再考』
- 17:15 ~ 18:15 ——— ポスターセッション ———
- 相原 研輔 (東京理科大学)  
『短い漸化式を用いる Krylov 部分空間法における residual gap について』
- 赤岩 香苗 (京都産業大学)  
『拡張型離散ハングリー戸田方程式に基づく全非負行列の逆固有値問題の解法について』
- 伊藤 祥司 (東京電機大学), 杉原 正顯 (青山学院大学)  
『双ランチョス解法の初期シャドウ残差ベクトルによる前処理系の切り替え』
- 神吉 雅崇 (関西大学)  
『離散系の擬似可積分性について』
- 木村 健治 (龍谷大学)  
『多次元レプリカ交換モンテカルロ法におけるレプリカ交換効率の改善』
- 佐藤 寛之 (東京理科大学)  
『非線形共役勾配法のリーマン多様体上への拡張とその応用について』
- 新庄 雅斗 (京都大学)  
『対称ブロック Cyclic Reduction 法における条件数変化について』
- 須志田 隆道 (北海道大学)  
『アルキメデス螺旋格子によるポロノイタイリングとタイルの極限形状』
- 鈴木 貴雄 (近畿大学)  
『 $q$ -パンルヴェ VI 方程式の  $q$ -超幾何関数の観点からの一般化』
- 中村 あかね (城西大学)  
『Autonomous limit of the 4-dimensional Painlevé-type equations and degeneration of curves of genus two』

福田 亜希子 (芝浦工業大学)

『ある非対称帯行列の固有値を計算する qd 型 dhLV アルゴリズムの拡張』

前田 一貴 (関西学院大学)

『非自励離散可積分系による一般化固有値計算法の研究』

三木 啓司 (同志社大学)

『スピン格子上的量子状態転送と直交多項式』

渡辺 扇之介 (京都府立大学)

『遷移を保つ 5 近傍 2 値 CA と 3 近傍 3 値 CA』

5月21日(土)

9:30 ~ 10:00 太田 泰広 (神戸大学)

『四元数 Pfaffian について』

10:00 ~ 10:30 永井 敦 (日本大学)

『ソボレフ不等式の離散化と工学への応用』

10:30 ~ 11:00 井ノ口 順一 (筑波大学)

『Chiral fields and Riemann-Hilbert problems, revisited』

11:30 ~ 12:00 時弘 哲治 (東京大学)

『Hietarinta-Viallet 方程式の高次元拡張について』

12:00 ~ 12:30 石森 勇次 (富山県立大学)

『熱伝導方程式に対するクランク・ニコルソン法の高精度化』

12:30 ~ 12:40 —— クロージング ——